

文芸 さくらがわ

俳句

〔天和俳句愛好会〕

秋草を取りて疲れし部屋灯す 田中はついで
 彼岸花墓にあかあか華やげり 代田 とし
 ささやかな家族のふれ合い敬老日 安達 幸子
 収穫の笑顔もありて農に老ゆ 皆川 和子
 蒼天へ黄金に光る柚子たわわ 岩渕のぶ子
 句の友の終の顔見る忘年会 古橋 益子
 捨てるもの残し置くもの師走かな 鈴木 つぎ

短歌

〔花の室 木崎集〕

雲海を血の色に染め日は沈むまつるはぬ者に
 あやかしのこゑ 塚田 沙玲
 物思いに耽る時あり呼ぶ声にうつつ立ちて
 時計を見上ぐ 石浜今日子
 京みやげ雲上人のまねをして小指を立てて落
 雁を食ふ 大久保まさ子
 虫すだく庫裡の狭庭に半月の光さしくる二人
 の夕餉 高昌

ピアノ曲の(愛と死)奏でる夕ぐれはひぐらし
 の声に掻き消され行く 塩谷 明子
 カサブランカの蕾大きく膨らみぬ開くは明日
 と思ひつつ寝ぬ 鈴木 とみ
 大極拳 笑顔で集う公園に小鳥の声と木の香
 ほのかに 塚本 幸子
 陽にあてし布団にころんと横になるざわざわ
 とした心しずまる 西岡 和子
 茶の花を一輪さして会食す病む友癒す言葉な
 けれど 野村 幸男
 羽根ひろげ飛び立つ勇氣もたずして蝶はくだ
 けて土にかへりぬ 深谷 快子

〔岩瀬短歌会〕

さらさらと笹の葉擦れは病窓に癒え近き日の
 頬にふれゆく 萩原きしの
 穂孕みし稲田の上をすれすれに空中防除の無
 人機の飛ぶ 石田 守子
 ひそやかに明し月夜の沐浴に白さるすべり花
 房清し 瀧井 幸子
 淋しいよと妻を亡くせし友よりの電話に一瞬
 ことばを探す 広沢日出子
 シルバーカー押す友の背に日傘さしかけてコ
 ンビニ迄の歩幅合はする 片岡喜知子

天折の役者の一世読み終へて裡に沁む雨目を
 閉ちて聴く 古賀 澄

田子の浦富士を仰いで浜遊び峯はふわりと白
 雲浮ける 飯田 良江

涼風の通ひ初めたる家陰に秋海棠の花乾れに
 けり 山田しげの

散り敷ける上にまた散る銀杏に孫ら舞ふなり
 諸手を上げて 鈴木美津子

〔岩瀬秋歌会〕

水やりて暮れゆく庭の夕明かりしじまをほの
 か木屋かほる 大関 節子

香の立ちて姿たづめる木屋の花は葉かげにい
 みじくも咲く 安達 悦子

黄の色を増しつつまろむ柚子の実は不作なり
 しか生りはまばらに 安達すみ子

夕焼けに真赤にもゆる百日紅ゆく秋の日をお
 しむが如く 角田 玉枝

歌ひつつ「棒じぼ当れ」と打つ童幼もまじり照
 らす望月 坪井ゆき子

旅果てて車中に相撲聞きながら家路へ急ぐ小
 雨降るなか 長谷川玲子

秋深む道辺に名残の黄の小花草生の中にのぞ
 くとほし 石川 喜代

〔一般投稿〕

晩秋は芒も白髪ふり乱し 無常の事わり説き
 示す 鈴木省一

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

■サイズ 1枠45mm×85mm、2枠45mm×172mm
 ■掲載料 1枠10,000円、2枠20,000円
 (月額) ※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111・75-3111、内線1268

おもちやお売りください。

ご不要なおもちゃ、捨てる前にぜひお電話を!
 こちらから、お伺いいたします。
 ご好評により、高めに買取しております。

ウルトラマン・怪獣・ブロック・戦隊ヒーロー・リカちゃん人形・
 仮面ライダー・合体ロボット・LEGO・プラモデル・本など

(仮)こどもブロック研究所 増田俊伸
 桜川市大国玉2056-1 10時~19時(不定休)

お電話はお気軽に ☎090-3040-4115

古物商許可・茨城県公安委員会 第40122000511号